



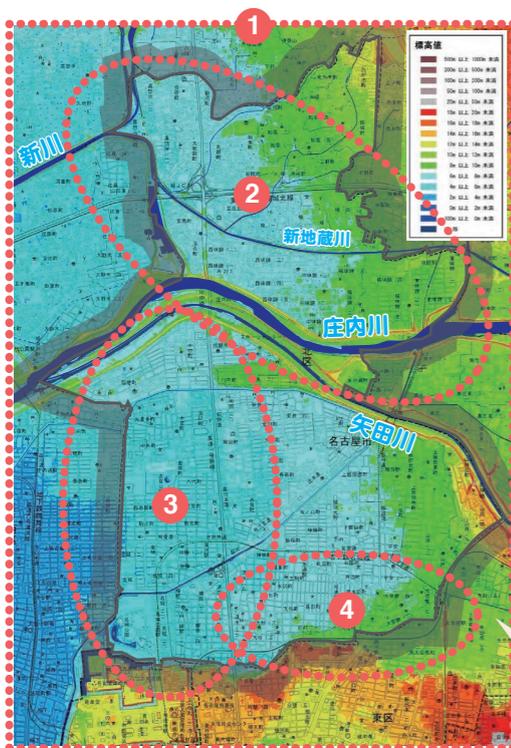
# 北区は どんなまち？

デジタル標高  
地形図で見て  
みましょう！



## 1 北区の特徴

### 北区のデジタル標高地形図



出典:国土地理院のデジタル標高地形図に加筆

### 北区の地理的特徴

北区は名古屋台地の北側に接し、川が運んできた土砂が長い時間をかけて積み重なって作られた「沖積平野」と呼ばれる平野です。

区を東西に横切るように庄内川、矢田川が流れ、区のほぼ全域に河川洪水による被害のリスクがあります。また、それ以外の中小河川の氾濫に注意が必要なエリア、地震が発生した時の火災や液状化に注意が必要なエリアなど、エリアごとに特に注意すべき災害もあります。

名古屋市では災害のリスクを学区単位でよりくわしくまとめた地区防災カルテを市公式ウェブサイトで公開しています。お住まいの学区の災害のリスクを地区防災カルテでご確認下さい。



防災カルテ

- ① 庄内川・矢田川の氾濫に注意が必要なエリア
- ② 中小河川の氾濫に注意が必要なエリア
- ③ 震災時の液状化に注意が必要なエリア
- ④ 震災時の火災に注意が必要なエリア

## 3 防災家族会議でタイムラインを作成しておこう！

### 災害時に慌てないために

「災害時に慌てないように準備しておきましょう」

北区で過去に発生した災害では、避難情報が発令されてから実際に被害が発生するまでの時間は最短で1時間でした。

いざという時に、慌てずに行動するために防災家族会議を開催し、タイムライン(裏面)を作成しながら、災害時の行動や日ごろの備えを家族全員で確認しておきましょう。

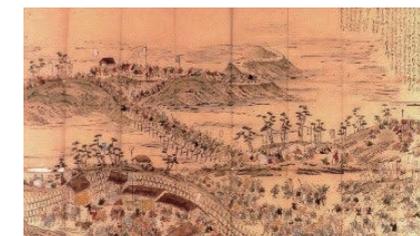
### 過去の災害での 避難情報の発令から被害発生までの時間

- 平成20年8月末豪雨 1時間00分
- 平成23年台風15号 3時間55分
- 平成25年集中豪雨 1時間35分

## 2 北区における過去の災害と対応

北区では古くからたびたび河川の氾濫による災害が発生したため、様々な河川改修が行われて来ました。

近年でも2000年(平成12年)の東海豪雨や2008(平成20年)の8月末豪雨などで北区でも被害が発生しています。



出典:江戸期に実施された御冥加自普請之図  
名古屋市博物館所蔵

### 伊勢湾台風以降の北区の水害

発生日	名称	被害
1959年(昭和34)	伊勢湾台風	負傷者275、全壊101
1971年(昭和46)	台風23号	床上41、床下856
1976年(昭和51)	台風17号	床上349、床下6,172
1982年(昭和57)	集中豪雨	床上92、床下2,846
1991年(平成3)	台風18号	床上484、床下1,745
2000年(平成12)	東海豪雨	負傷者2 床上2,221、床下1,172
2008年(平成20)	8月末豪雨	床上109、床下1,290
2011年(平成23)	台風15号	負傷者1、床下75
2013年(平成25)	集中豪雨	床上27、床下598



東海豪雨の被害



台風15号の被害

東海豪雨やその後の豪雨被害などを受けて策定した名古屋市総合排水計画に基づき、浸水被害の軽減のための施設整備を進めていますが限界があります。ハンドブック本紙を参考に、**防災家族会議を開催し、防災物資の備蓄やタイムライン(裏面)の作成など、日頃からの備えを進めましょう！**



施設整備の実施状況

警戒レベル	3 災害のおそれあり	4 災害のおそれ高い	5 災害発生または切迫
避難情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
わが家の避難行動	<input type="checkbox"/> 早めに避難開始！ <input type="checkbox"/> キックルを確認する <input type="checkbox"/> 家族や親戚に避難先を連絡する	<input type="checkbox"/> 避難開始！ <input checked="" type="checkbox"/> 安全な場所へ移動 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 身の安全を確保する

発令 → 被害発生

過去の災害では、最短で1時間で被害が発生しました。いざという時の行動を、**今考えておきましょう！**